

気になるワード

6月定例会の中から「気になる言葉」を取り上げて解説します

「インクルーシブ公園」って？ (P4 平田浩介議員一般質問より)

インクルーシブ (inclusive) とは、日本語にすると「包み込むような／包摂的な」という意味です。ここから直訳すると、インクルーシブ公園は「包み込むような公園」ですが、このままでは意味がよく分かりませんね。では、反対語から考えてみましょう。反対語には「排他的な／独占的な」という意味のエクスクルーシブ (exclusive) があります。つまり、インクルーシブ公園は「誰も排除しない公園」ということです。これは、通常の公園では「排除されている人たち」がいることを意味します。その代表格が障害を持つ方々です。小さな段差が車椅子に乗っている方にとっては大きな壁になるかもしれませんし、文字を読むことが難しい方には看板の内容が分からないかもしれません。こういった困難をなくすことで、障害の有無や年齢、言語を問わず誰でも楽しめる場所がインクルーシブ公園です。

日本では2020年に東京で初めてインクルーシブ公園が設置され、徐々に増えていますが、現在のところ本市に設置はありません。しかし、今ある公園をより良いものにするため、安全面や利便性向上に努めています。

《このワードに関する一般質問の内容をP4下段のQRコードより動画で見ることができます》



▲銀杏ヶ丘公園 (通常の公園)

表紙写真募集中

応募方法等はR5年5月発行のつがる市議会だより78号をご覧ください。ホームページの専用ページでご確認ください。

専用ページはこちらのQRコードから⇒



議会中継

ライブ中継

録画中継



つがる市議会 インターネット中継

次回の定例会予定は9月です
詳しくはホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。



表紙取材日記

今回の表紙は車力中学校へ取材依頼をし、マグアビーチ清掃の様子を撮影しました。ごみや流木が辺りを覆いつくしていましたが、皆さんの頑張りで見えるうちに片付いていきました。車力中学校の先生は「海岸清掃は生徒たちの環境教育にもなるんです。」と話してくださいました。きれいな海岸を保つために、こういった活動をしている方々がいることを忘れないようにしたいです。取材にご協力いただいた皆さんありがとうございました。



つがる編集室

今年春から天候に恵まれて、市内の田園風景も新緑に染まり、稲や野菜が順調に生育しています。7、8月には露地物の出荷が始まり、生産者の意気込みが聞こえてくるようです。大雨や台風の来ない豊作の年を願うばかりです。

さて、この度、伊藤鉱業アリーナつがる (つがる市総合体育館) が6月1日にオープンしました。誰でもスポーツが楽しめる地域活性化につながるものと考えます。2025年には国民スポーツ大会も予定されており、期待も高まっています。議会として、農業の活性化、スポーツ振興はもとより、市民の皆さまが暮らしやすいまちづくりを推進するため、子育て支援の拡充や、高齢者の健康や生活を支える施策の検討を進めてまいります。

委員 佐々木 敬藏 記

議会だより編集委員会

委員 長	秋田 谷 建幸
副委員 長	成田 博
委員 員	佐々木 敬藏
委員 員	齊藤 渡
委員 員	山内 勝
委員 員	平田 浩介